

強みを活かしたすだち果汁の小袋で OEM 依存型経営から脱却

課題

売上げの大半を占める OEMの受注減が続く

大崎食品工業株式会社は、餃子のたれ、ぼん酢醤油、わさびといった液体調味料のOEMを手がける食品メーカーだ。主に、県内外の加工食品製造メーカーを対象にOEM製品を製造している。

弁当などに付属する、小袋入りの液体調味料の充填包装加工を強みとし、とくに、すだち果汁小袋パックの充填製造を行えるのは県内外では同事業所のみ。大手製菓メーカーで培ったノウハウを活かした小袋への充填加工の技術力と、嗜好・用途に応じて量、サイズが変更できる柔軟な対応力は顧客に高く評価されている。地域内ですだち果汁などの安心安全な原材料を安価に調達できるため、大手メーカーが対応できない小ロットや短納期での生産能力も好評だ。

だが、近年、売上げの80%を占めるOEM事業は需要の停滞が続く、受注は減少傾向にある。自社製品も食品スーパーや卸業者に納入しているが、売上げはまだ20%程度。OEMに依存した経営からの脱却を図り、自社ブランド商品の強化と売上げ増を課題として掲げていた。

支援

すだち果汁の小袋商品で 販路と知名度を拡大

消費者の内食志向が高まり、時間に追われる日常生活の利便性を図ろうと、「手軽・簡単・短時間」で本格的な味が実現できる混合調味料（鍋スープ・すきやきのたれなど）のニーズが高まっている。健康志向の高まりで糖質やカロリーをカットした商品、核家族化、少子高齢化により使い切りできる商品が人気を呼ぶなど、市場環境は同事業所にとっては追い風だ。そこで、石井町商工会の支援のもと、2016年1月に初めて伴走型支援事業を活用し、東京での石井町商工会物産展にすだち・ゆずぼん酢のボトル商品を出品した。

訪れた顧客から寄せられた「すだちの青果品はないのか」「すだち果汁だけがほしい」「少量の使い切りサイズがよい」といった意見を受け、2016年4月から商工会とともに、小袋パックに充填した「すだち果汁」を自社ブランド商品として、販路拡大を支援する方針を決定。小規模事業者持続化補助金を用いて、パッケージデザインやリーフレットを見直し、商品の機能性や地域色を高めた内容に変更した。



東京での地方銀行フードセレクション展示商談会に出展

結果、県内の道の駅や産直市への納入がスタートし、首都圏での商談会では、食品卸会社の麺ギフト、食品スーパーの魚介ギフトへの商談の2件が成立。景気低迷により売上げが減少する企業が多いなか、2018年9月期の同事業所の売上げは、前年対比3%の増加を果たしている。

すだちの余剰対策に貢献し、自社ブランド商品の地域ブランド商品として認知度アップも期待される。今後は、飲食店や食材宅配、給食会社にもアプローチし、自社ブランド商品の売上げ比率のアップを目指す。

支援の経過

期間	支援内容
2016年4月～12月	販売戦略の策定支援
2017年1月～12月	持続化補助金の申請・実行支援
2018年1月	伴走型支援事業での展示会出展支援
2019年1月	事業の振り返り、同年の戦略策定支援
9月	伴走型支援事業での展示会出展支援

会社概要

会社名：大崎食品工業株式会社
住所：徳島県名西郡石井町高原字東高原41-1
電話番号：088-674-5505
URL：<http://www.ohsakishokuhin.co.jp>
代表者名：大崎真弘
創業年：1978年
従業員数：15名
商工会名・担当者名：石井町商工会・小河清中